奈良工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	異文化交流Ⅲ
科目基礎情報					
科目番号	0008		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	グローバルエンジニア養成教育プログラム (GEP) (ベーシックコース)		対象学年	3	
開設期	集中		週時間数		
教科書/教材	「CLIL Seeing the World through Maps (CLIL 英語と地図で学ぶ世界事情)」、三修社、笹島茂 他 著				
担当教員	朴 槿英				
到達目標					
<p>1. 文化の多様性に気付き、異文化理解に対する意識を高めるとともに、自国の文化との違いを認知することができる。また、本校が提供するイマージョン・プログラム (immersion program) および国際交流プログラムに参加し、仲間と協力してその準備に積極的に取り組むことができる。</p> <p>2. 異文化の存在を意識し、どのような態度で異文化を受け入れるべきか考え、行動に移すことができる。主に英語を用いてプレゼンテーションおよびビデオ制作をすることができる。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
英語による異文化理解力	地図を通して世界の地理や歴史を英語で十分理解できる。		地図を通して世界の地理や歴史を英語である程度理解できる。		地図を通して世界の地理や歴史を英語で理解できない。
グローバル・コミュニケーション力	様々な地域 (area) の事情について、流暢な英語でコミュニケーションできる。		様々な地域 (area) の事情について、簡単な英語でコミュニケーションできる。		様々な地域 (area) の事情について、英語でコミュニケーションできない。
英語によるクリエイティブな制作力	グループワークによる英語プレゼンテーションおよびビデオ制作ができる。		グループワークによる英語プレゼンテーションまたはビデオ制作ができる。		グループワークによる英語プレゼンテーションまたはビデオ制作ができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	異文化に関するオープンマインドな姿勢でイマージョンプログラムおよび国際交流プログラムに参加し、英語によるプレゼンテーションやコミュニケーションを行うことで実践的なグローバル感覚を身につける。なお、ヨーロッパで普及している理科や社会などの科目内容と言語を統合した学習法、CLIL (Content and Language Integrated Learning) を用いて、地図を題材としながら世界の事情を英語で学び、考え、話し合う。				
授業の進め方・方法	講義、イマージョンプログラムにより、「異文化理解」における3つの構成要素(①態度・②知識・③技能)を理解した上で、各プログラムのテストに従って、グループワークによる英語プレゼンテーションおよび英語ビデオ制作の準備を行う。また、国際交流プログラムへの参加と異文化交流を通して修得した知見をレポートにまとめ提出する。				
注意点	異文化理解に対するオープンマインドな姿勢を有することが必要である。そして実践的な異文化交流を行う対象国に関する基礎知識を事前に習得するなど、積極的な取り組みが必要である。 関連科目：人文科学系の科目および社会科学系の科目の中、英語および社会、地理、文化に関連する科目 学習指針：英語コミュニケーション能力の向上のために「聞く」、「話す」練習を行うこと。異文化交流プログラムへの参加に向けて英語による発表資料を作成すること。 自己学習 (事前学習および事後展開学習) 事前学習：異文化交流を行う対象国に関する基礎知識を事前に調査すること。学校紹介や日本文化に関する英語プレゼンテーションを行うための資料収集、英作文練習、発音練習を行うこと。 事後展開学習：各異文化交流プログラムを通して学んだ知識、教養に関する英文報告書を作成すること。				
学修単位の履修上の注意					
授業の属性・履修上の区分					
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Guidance of Lecture Contents and Teaching Methods	To understand how to learn the contents in English	
		2週	Area 1 : Europe Sweets and the House of Habsburg / The European Union	To understand the stories of Habsburg and the European Union	
		3週	Area 2 : Africa The Masai Mara National Reserve / Souvenir Shopping in Africa	To expand the interest and knowledge about Africa	
		4週	Area 3 : The Middle East Holy Places / Strategic Seaway	To enjoy thinking related on the Middle East	
		5週	Area 4 : South Asia Mumbai and Jaipur / Afghanistan	To be critical on the social issues in South Asia	
		6週	Area 5 : Russia and its Neighboring Countries St. Petersburg / Ukraine : Caught between Russia and Europe	To be flexible and to use English for speaking out	
		7週	Area 6 : East Asia Super Sky Railway to Inner Highland / The Two different Faces of Korea	To integrate learning for taking a step forward	
		8週	Area 7 : Southeast Asia A Country of Cultural Diversity / Religious Diversity	To compare cultural and religious diversity	
	2ndQ	9週	Area 8 : North America Country of Immigrants / The American Dream	To understand the history of America	

		10週	Area 9 : Central America and the Caribbean The Panama Canal / Revolution and Socialism	To expand the knowledge about Central America and the Caribbean	
		11週	Area 10 : South America Rio de Janeiro / Japanese Immigrants	To understand the history related on Japanese immigrants in South America	
		12週	Area 11 : The South Pacific and the Antarctic The Last Unknown Place on the Earth / What is the Antarctic like?	To enjoy learning about the last unknown place on the earth	
		13週	Area 12 : Australia and New Zealand A Continent of Modern Cities and Unique Nature / Animals and Plants Unique to Australia and New Zealand	To develop intercultural communicative competence	
		14週	Summarizing : Group Presentation & Discussion	To express the knowledge of other countries with intercultural understanding	
		15週	Final Assignment		
	後期	3rdQ	16週		
			1週		
			2週		
			3週		
			4週		
			5週		
			6週		
			7週		
		4thQ	8週		
			9週		
10週					
11週					
12週					
13週					
14週					
15週					
16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		Group Presentation	Assignment / Report	合計	
総合評価割合		50	50	100	
基礎的能力		50	50	100	